

# 学習課題（中学校3年生）



## 【国語】

### <学習内容>

○教科書の「挨拶—原爆の写真によせて（P94～96）」読んで、作者のものの見方や考え方に着目し、気付いたことや考えたことを家の人に伝えてみよう。

### <取り組み方>

- (1) 教科書 P94～96 「挨拶—原爆の写真によせて」の詩を2回、音読しよう。
- (2) 次の①～⑤について自分の意見や調べたことをまとめ、この詩を通して作者が読者に何を伝えたいのか考え、
  - ① 詩に出てくる「りつぜん」「きわどい」「えり分ける」「油断」の語句の意味を調べ、まとめてみよう。
  - ② 詩の副題にある「原爆」について知っていることを箇条書きでまとめてみよう。また、インターネットが使える人はより詳しく調べてみよう。
    - ・「原爆」とは何のことだろうか？
    - ・「原爆」に対してどんな印象があるだろうか？
    - ・「原爆」によりどんな影響があったのだろうか？
  - ③ 詩に出てくる「一九四五年八月六日」「二五万」「午前八時一五分」といった具体的な数字は何を示しているのか、家の人に聞いてみよう。また、インターネットでも調べてみよう。
  - ④ 詩に出てくる以下の表現が何を表しているのか、自分の考えと、そう考える理由をまとめてみよう。また、それぞれのことについて家の人にも考えを聞き、意見を交流してみよう。
    - ア、第3連の「とはいえ 友よ」の「友」とは誰のことを指しているのだろうか。
    - イ、第4連「私はりつぜんとするのだ」とあるが、作者はどうして「りつぜん」としたのだろうか。
      - ※「明日の表情」とはどのようなことを表しているだろうか（例：「明日が当たり前に来ると思う気持ち」）。
    - ウ、第5連の「地球」が「生と死のきわどい淵を歩く」とは何を表しているのだろうか。
      - ※現代社会においては、どのようなことが当てはまるだろうか。
    - エ、第6連「何か近づいてきはしないか」の「何か」とは具体的に何のことを指した表現だろうか。
      - ※「何か」については、現代社会においては、何が当てはまるだろうか。
  - ⑤ この詩を通して作者は読者に何を伝えたいのかを考え、自分の意見をまとめてみよう。（例）作者は原爆の◆◆を通して、○○だと考え、現代の社会に△△というメッセージを伝えようとしているのだと思う。
- (3) (2)でまとめたことを家の人に伝えてみよう。

※(1)～(3)に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。

※(3)について、家の人に伝えるのが、どうしても難しい場合は、目の前に家の人がいると想像して、自分の考えを声に出して説明するというだけでもかまいません。